

日ニ譲リ英佛提案ノ研究ニ同意スルモノナリトノ留保の聲明ヲ爲シタリ

「ステイム
ソン」提
出勸諭

「首席全權會議ニ於テ討議中ナル議題表ノ」「一般問題」ノ部ニ掲ケラルル方式及手續ノ問題殊ニ總噸數制限主義ニ關スル佛國提案、艦種別制限主義ニ關スル英國提案及融通方法ニ關スル佛國提案ヲ五國全權部ノ任命スヘキ代表者ヨリ成ル一委員會ニ付託ス同委員會ハ該方式ノ實行性及各國海軍ニ對スル效果ヲ慎重考究シ各國首席全權ヲ通シテ會議ニ報告スヘシ」

第四章 會議ノ構成

會議ノ構
成

會議ノ構成ハ之ヲ三大別スルコトヲ得ヘシ即チ一ハ正式會議ニハ非公式會談（所謂内協議）三ハ書記局之ナリ各國ノ保有量ニ關スル問題ノ如キ重要ナル案件ハ殆ト總テ非公式會議ニ於テ討議決定セラレ正式會議ハ主トシテ右非公式會談ノ決定セル所ヲ確認シ又ハ專門的事項ヲ審議スルニ止レリ

正式會議

一、正式會議

(イ) 總會 各國全權全部ヨリ成ル最高會議ニシテ都合六回開催セラレタリ（内一回ハ非公開）

(ロ) 首席全權會議 各國首席全權ヨリ成リ主トシテ會議ノ議事及手續ヲ議シタリ都合十七回ノ會合ヲ見タリ（全部非公開）

(ハ) 各種委員會

(A) 第一委員會 各國全權二名（形式上ハ全權全部）ヨリ成リ主トシテ專門事項ヲ審議決定ス都合八回ノ會合ヲ見タリ（全部非公開）

本委員會ニハ專門委員會（更ニ分科會アリ）及法律家委員會隸屬ス專門委員會ハ十九回同分科會ハ十一回法律委員會ハ一回ノ會合ヲ見タリ

(B) 起草委員會 各國一名ノ委員ヨリ成リ條約案ノ起草ニ當ル（非公開）

(C) 條約委員會 各國二名ノ委員ヨリ成リ專門事項ニ付起草委員會ヲ補佐ス（非公開）

非公式會
談

二、非公式會談

非公式會談ハ或ハ二國間ニ或ハ三國間ニ隨時行ハレタルカ右會談ニ伴ヒ前記正式委員會トハ別ニ各種ノ專門委員ノ會合ヲ見タリ

書記局ハ「サー、モリス、ハンケー」事務總長ノ下ニ英國側ニ於テ之ヲ組織シ會議ノ準備、文書ノ整理等ニ當レリ尙各國一名ノ書記官ヲ出シ書記局ト各全權部トノ連絡ニ當ラシメタリ
右構成ニ至ル經過左ノ如シ

第一節 英國政府覺書及各國回答

一、英國政府覺書

一九二九年十二月九日
英國政府覺書
中會部分
構成ニ關スル部分

英國政府カ十二月九日在日米佛伊同國大使ヲ通シ會議ノ議題案及議事手續ニ關スル覺書ヲ右四國政府ニ交付セル次第ハ第三章所載ノ通ナルカ右覺書中會議ノ構成ニ關シ

- (1) 一月二十一日第一回總會（公開）ヲ開キ議長副議長及事務總長ヲ選任スルコト
- (2) 一月二十三日第二回總會（非公開）ヲ開キ左記ノ二委員會ヲ任命スルコト
 - (イ) 第一委員會ハ各艦種ノ制限ニ付別箇ニ且順序ニ討議ス又一般的又ハ專門的ノ各種分科會ヲ任命スルコトヲ得
 - (ロ) 第二委員會ハ議事手續ノ問題ヲ處理シ各國二名ノ全權委員ヲ以テ之ヲ構成ス
- (3) 第一委員會ノ議長ニシテ同委員會ノ任務終了セリト思考スル場合ハ其ノ旨會議ニ報告シ會議ハ總會ヲ開會スルコト
- (4) 會議ノ公式用語ハ英佛語トスルコト

二、各國政府回答

各國政府
回答
帝國政府
回答
米國政府
回答

- (1) 帝國政府回答
會議ノ議題及手續問題ニ關シテハ帝國全權着英後ノ協議ニ留保ス
- (2) 米國政府回答

佛國政府
回答

伊國政府
回答

- (イ) 手續問題ノ決定ハ全然第二委員會ニ委スルコトナク問題發生ノ都度首席全權ノ間ニ決定セラルヘシ
- (ロ) 七名ノ米全權全部兩委員會ニ振當テラルヘク米首席全權ハ第一委員會ニ出席ス
- (3) 佛國政府回答
手續問題ノ終局的決定ハ會議開催後ニ讓ルヘシ
- (イ) 第一委員會事業終了ヲ俟タスシテ總會ヲ召集スルノ權限及分科會ヲ任命スルノ權限ヲ第二委員會ニ與フヘシ
- (ロ) 伊國政府回答
制限方式ニ關スル決定ノ自由ヲ留保シテ英國提案ヲ受諾ス

第二節 會議開催前ノ豫備的打合

一月二十日
日首席全
權會合
議長、副
議長及事
務總長ノ
選任

委員會ノ
任命

一月二十日即チ會議開催前日ノ首席全權會合ニ於テ會議ノ構成問題ヲ議シタルカ其ノ經過左ノ如シ
一、議長、副議長及事務總長ノ選任
一月二十一日ノ第一回總會ニ於テ之ヲ行フコトシ議長ハ英首相副議長ハ各國首席全權トシ必要ノ場合ニハ「アルファベット」順ニ議長ノ席ニ就クコトニ決ス

二、委員會ノ任命

英首相ヨリ前記英國政府覺書ト略同一ノ提案ヲ爲シタルニ對シ米國全權「スティムソン」ハ第一委員會ハ英案通ニテ差支ナキモ第二委員會ハ之ヲ形式的ニ決定シ置カストモ當然事實上開カルヘキ會合ニシテ斯ル會合ヲ召集スルコトハ總テ議長ノ權限内ニ包含セラルルモノト考フル方然ルヘシト述ヘ佛國全權「タルデュー」モ之ニ贊シ伊國全權「グランディ」ハ場合ニ依リ各國全權ヨリ此ノ種會合ヲ招集スルコトヲ議長ニ提言スルコトアルヘキヲ指摘シ其ノ意味ニ於テ第二委員會ヲ設定セサルコトニ合意成立セリ（會議中會議ノ議事進行ニ關シ隨時首席全權會議ヲ開催スルコトナレルカ之レ事

事務局長
及書記局
員ノ任命

實上英提案ニ所謂第二委員會ト其ノ目的ヲ同シクスルモノナリ）
尙右首席全權會合ニ先チ全然非公式ノ協議ニ依リテ英國「サー、モーリス、ハンケ」ヲ會議ノ事務總長トシ書記局ヲ組
織セシメ各國夫々一名ノ書記官ヲ任命シテ書記局ト各全權部トノ間ノ連絡ニ當ラシムルコトニ決定セリ

第二節 會議開催後ノ經過

議長副議長
長事務總長
ノ選任

一、議長、副議長及事務總長ノ選任

一月二十一日第一回總會ニ於テ「マクドナルド」首相ヲ會議議長ニ次テ一月二十三日第二回總會ニ於テ議長缺席ノ場合
ニハ各國首席全權「アルファベツト」順ニテ議長ヲ代行スルノ件及「サー、モーリス、ハンケ」ヲ會議事務總長トスル
ノ件ヲ決定セリ

第一委員
會ノ任命

二、第一委員會ノ任命

一月二十三日第二回總會ニ於テ前記第一委員會（各國全權全員ヨリ成ル）ヲ任命シ次テ前章第四節記載ノ通一月三十
日ノ第三回總會ニ於テ議題中一般問題（制限方式）ヲ議スヘキ一委員會ノ設置ヲ見タルカ後者ノ構成ニ關シテハ主トシ
テ英國側ニ人選上ノ困難アリテ幾度モ變更セラレ或ハ全權全部ト爲シ或ハ全權二名ト爲シ或ハ全權以外ノモノト爲ス等
幾多ノ考案アリタルモ決セス然ルニ第一委員會ヲ三十一日午後開催スヘキ旨通知アリタルヲ以テ我方ヨリモ全權全部出
席セル處議長ハ制限方式問題ヲ第一委員會自身ニ於テ取上クルコトト爲シタル事情ヲ述ヘ且全權全部ニ於テ討議ニ加ハ
ルノ必要ナキニ付各國共二名ノ全權ヲ選ヒ之ニ審議ヲ委任スルコトトシ度シト提議シ可決セラレタリ斯テ一月三十日總
會ノ任命ニ係ル制限方式委員會ハ形式上消滅シ第一委員會ニ於テ一切ノ議題ヲ審議スルコトニ確定セル次第ナリ

專門委員
會其他ノ
任命

三、專門委員會其他ノ任命

(1) 專門委員會

專門委員
會

二月六日ノ第三回第一委員會ニ於テ制限方式問題ニ關スル專門事項ヲ審議セシムル爲各國海軍專門家二名及「アド
ザイザ」一名ヨリ成ル專門委員會ヲ設クルニ決定シタルカ（實際ハ各國共必要ニ應シ相當多數出席セリ）本委員會
ハ其ノ後制限方式ノミナラス一切ノ專門事項ヲ審議シ第一委員會ニ對シ報告ヲ提出スルノ機關トナレリ

法律家委
員會

(2) 法律家委員會

潛水艦ノ使用制限問題ニ關シテハ第一委員會ハ之ヲ專門委員會ニ同付シタルカ同委員會ハ直チニ本問題ヲ討議シ得サ
リシヲ以テ先ツ五國ノ法律家間ニ豫備的協議ヲ爲サシムルコトトナレリ然ルニ右協議進捗セス其ノ後首席全權會議ニ
於ケル話合ノ結果獨立ニ法律家委員會ヲ開キテ本問題ニ關スル宣言案ヲ起草スルコトトナレリコト第九章記載ノ通ナ
リ

起草委員
會及條約
委員會

(3) 起草委員會及條約委員會

四月十一日ノ首席全權會議ニ於テ條約案ヲ起草スヘキ起草委員會（各國一名宛ノ申合セナリシモ實際ハ必要ニ應シ相
當多數出席セリ）及專門事項ニ付起草委員會ヲ補佐スヘキ條約委員會（日英米三國ノ協定事項整理ノ爲設ケラレタル
各國二名ノ委員會ニ佛伊委員ヲモ加ヘタルモノ）ヲ設置セリ